

アルボナース®の新型コロナウイルスに対する有効性について

アルボナース® について新型コロナウイルスに対する効果の試験を行い、
検出限界以下（99.99 %以上）に減少させることを確認しました。

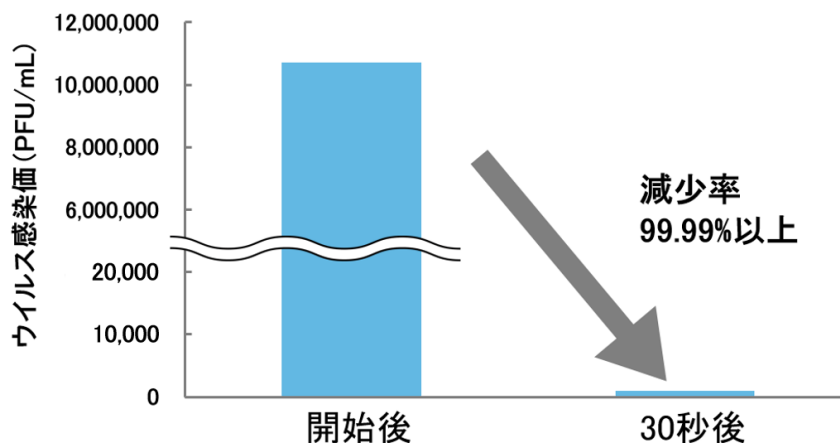
試験方法（プラーク測定法）

1. ウイルス懸濁液とアルボナースの原液を 1:9 の割合で加え、十分攪拌する。
2. 25℃、30 秒間静置し、これを試験液とする。
3. この試験液を不活化後、0.1 mL 当たりのウイルス感染価をプラーク測定法にて測定し、試験液 1 mL 当たりのウイルス感染価を算出した。

試験ウイルス	SARS-CoV-2（NIID 分離株;JPN/TY/WK-521）
宿主細胞	VeroE6 / TMPRSS2 JCRB1819
試験条件	対照サンプル: Phosphate buffered saline (PBS) ウイルス懸濁液: アルボナース® 1:9 作用温度 : 25℃ 作用時間 : 30 秒

結果

新型コロナウイルス不活化試験結果



新型コロナウイルスを 99.99 %以上不活化することを確認しました。

解説

「99.99 %減少」とは、もとのウイルス量から 1 / 10000 になったことを示します。

同様に「99.9 %減少」の場合は 1 / 1000、「99 %減少」の場合は 1 / 100 になったことをそれぞれ示します。

出典

国立医薬品食品衛生研究所ホームページ 生活衛生化学部データベース

「手指消毒剤の新型コロナウイルス不活化効果」（2023 年 1 月 5 日に確認）